



マジシャンコンプレッサー通信

最新情報はHPをチェック!
出演依頼・お問合せはお気軽に!
マジシャン コンプレッサー 検索

コンプ通信バックナンバーはWEBで
平成 28年 7月 1日発行
企画・編集・発行/株式会社コンプオフィス

北日本新聞 夏休み特別企画 マジックを観る・学ぶ・作る・演じる。

小学生「マジシャン」職業体験開催!

マジシャンって
どんな仕事?
不思議と笑いの秘密
伝える楽しさ

講師/コンプレッサー&ともやん ※詳細はホームページをご覧ください。



もっと知って!マジックの歴史

? 手妻(てづま)って何?

■「手妻」とは、江戸時代初期に現れた言葉で、日本独自の古来から伝わるマジックのジャンルです。「手を稲妻の様に素早く動かす」が、語源だと言われています。■明治に入り、外国のマジックと区別する意味も含め「和妻」という言葉も現れました。■現代になって生み出された日本奇術は「創作和妻・現代和妻」などと言われています。

今年も、富山市立鵜坂小学校で「マジックな授業」を定期開催する事が決まりました!三年目に突入です。「大人に魅力がないから、子どもたちが言う事をきかないんだ」という、以前聞いた言葉がずっと頭に残っています。

毎日書いています!
コンプのBLOG

6月10日(木)更新
毎日楽しそうなおじさん



ホームページで毎日公開しているブログも是非ご覧ください!
ブログへアクセス

子どもたちにとって、魅力的な大人って何なんだろう。「見普通の人のなかに、こんな愉快で不思議なおじさんがいるんだ!」というのがかっこいいなあ。そんなおじさんがいたら、子どもたちが大人になるのを楽しみにしてくれるんじゃないかなあ。「あのおじさん、毎日楽しそう!」っていう空気が、創るんじゃないかって、自然に、にじみ出てこないかなあ。

「本物のマジックを生で見たり、た事が無い人はマジックにあまり興味がない」というのを、経験の中で感じていま

北日本新聞
コンプレッサー
単独ライブ
8月7日(日)
高岡市福岡町Uホール
※詳細はWEBで

いつでもどこでも聴ける
コンプレッサーラジオ
毎週金曜日更新
「コンプレッサーラジオで検索」



す。子どもだましのマジックを見せられた子供たちがマジックを好きになるわけがない。演じる側の責任はいつも大きい。※ブログより抜粋

「マジックはどのくらい練習をしたら上手になりますか」と魔法学校の生徒さんから質問されます。一度タネを知ってしまったら、二年たつてもまだ練習段階のマジックもあります。練習、習得した作品を一番最初に見せるのは小学二年の二女です。「お父さんすごい」と喜んでくれるので自信になります。次に小学六年の長男に見せます。私が「不思議だった?」と聞けば「うん不思議だった。どうやってるの?」と、これまた自信につながります。そして三番目は中学二年の次女です。「見えた」「面白くない」など辛い言葉を聞くこともあります。次はいよいよ高校一年の長女です。見せ方やセリフのフレーズについても意見をしてくれれます。練習に協力してくれる家族にはいつも感謝しています。

ともやん教頭先生の
あすなろ&さのこ小児歯科医院
平日毎日
魔法学校日誌

新作マジック